

無断使用をお断りします。日科技連出版社

図解

IATF 16949 要求事項の詳細解説

【第2版】

自動車産業品質
マネジメントシステム要求事項、
IATFルール6、
プロセスアプローチ、
内部監査



岩波好夫^著

日科技連

第2版発刊にあたって

自動車産業 IATF 16949 認証制度－IATF 承認取得・維持ルール第5版(ルール5)が全面改訂され、その第6版(ルール6)が発行されました。ルール6は、2025年1月1日から適用されます。本書の第2版は、ルール6に対応しています。



まえがき

自動車産業の品質マネジメントシステム規格 ISO/TS 16949 認証が広まり、最近では、今までの金属関係の自動車部品メーカーに加えて、電子部品や化学素材関係企業の認証取得が増えています。その ISO/TS 16949 規格が、2016 年 10 月に IATF 16949 規格として新しく生まれ変わりました。IATF 16949 : 2016 規格は、品質マネジメントシステムの国際規格 ISO 9001 : 2015 を基本規格として採用し、それに自動車産業固有の要求事項を追加した、自動車産業のセクター規格です。

IATF 16949 では、品質マネジメントシステム規格 ISO 9001 の目的である、品質保証と顧客満足に加えて、製造工程、生産性、コストなどの、企業のパフォーマンスの改善を目的としています。IATF 16949 のねらいは、不適合の検出ではなく、不適合の予防と製造工程におけるばらつきと無駄の削減です。

IATF 16949 規格の基本規格である ISO 9001 が改訂され、リスクを考慮した品質マネジメントシステム規格になりましたが、IATF 16949 規格は、旧規格の ISO/TS 16949 のときから、リスクを考慮した規格になっています。IATF 16949 規格は、自動車産業のみならずあらゆる製造業における、経営パフォーマンス改善のために活用できる規格といえます。

IATF 16949 規格は、旧規格の ISO/TS 16949 に対して、多くの自動車産業固有の要求事項が追加されており、その中には難解な要求事項も数多く含まれています。本書では、IATF 16949 規格要求事項、自動車産業の顧客志向にもとづくプロセスアプローチ、プロセスアプローチ内部監査、ならびに IATF 16949 認証制度について、図解によりわかりやすく解説することを目的として、IATF 16949 で追加された要求事項で、内容がわかりにくいといわれている項目を含め、要求事項の意図とその詳細について解説します。

本書は、次の各章で構成されています。

第1章 IATF 16949 の概要

この章では、IATF 16949 とは、IATF 16949 のねらい、IATF 16949 の適

用範囲、および IATF 16949：2016 改訂の概要について解説しています。

第2章 IATF 承認取得・維持ルール(ルール 6)

この章では、IATF 承認取得・維持ルール(ルール 6)の概要、および IATF 16949 認証プロセスについて解説しています。

第3章 自動車産業プロセスアプローチと内部監査

この章では、自動車産業プロセスアプローチ、および内部監査について解説しています。

第4章 組織の状況

この章では、IATF 16949 規格箇条 4 “組織の状況” の要求事項の詳細について解説しています。

第5章 リーダーシップ

この章では、IATF 16949 規格箇条 5 “リーダーシップ” の要求事項の詳細について解説しています。

第6章 計画

この章では、IATF 16949 規格箇条 6 “計画” の要求事項の詳細について解説しています。

第7章 支援

この章では、IATF 16949 規格箇条 7 “支援” の要求事項の詳細について解説しています。

第8章 運用

この章では、IATF 16949 規格箇条 8 “運用” の要求事項の詳細について解説しています。

第9章 パフォーマンス評価

この章では、IATF 16949 規格箇条 9 “パフォーマンス評価” の要求事項の詳細について解説しています。

第10章 改善

この章では、IATF 16949 規格箇条 10 “改善” の要求事項の詳細について解説しています。

本書は、次のような方々に、読んでいただき活用されることを目的としています。

- ① 自動車産業の品質マネジメントシステム規格 IATF 16949 認証取得を検討中の企業の方々
- ② IATF 16949 規格要求事項の意図と詳細内容の理解を深めることによって、現在の IATF 16949/ISO 9001 品質マネジメントシステムのレベルアップを図りたいと考えておられる方々
- ③ ISO 9001 にも活用できる、IATF 16949 規格要求事項、自動車産業プロセスアプローチ、および品質マネジメントシステムの有効性の監査手法である、自動車産業プロセスアプローチ監査について理解したいと考えておられる方々

読者のみなさんの会社の IATF 16949 認証取得、ISO 9001 および IATF 16949 システムのレベルアップのために、本書がお役に立てば幸いです。

謝 辞

本書の執筆にあたっては、巻末にあげた文献を参考にしました。とくに、IATF 16949 規格、IATF 承認取得・維持ルール、ISO 9001 規格、AIAG のコアツール参照マニュアルを参考にしました。それらの和訳版は、(一財)日本規格協会または(株)ジャパン・プレクサスから発行されています。詳細については、これらの書籍を参照ください。また本書の内容の一部は、マネジメントシステム月刊誌『アイソス』(システム規格社)に掲載した筆者の記事を参考にしています。

最後に本書の出版にあたり多大のご指導いただいた、日科技連出版社代表取締役社長戸羽節文氏ならびに出版部係長石田新氏に心から感謝いたします。

2018 年 10 月

岩 波 好 夫

本書の構成について

第4章から第10章までは、IATF 16949 規格の箇条4から箇条10までの、いわゆる要求事項について解説しています。

これらの章では、次のように記載しています。

- ① [要求事項]、[用語の定義]、[要求事項の解説]、および [旧規格からの変更点] について述べています。
- ② [要求事項] は、ISO 9001 規格要求事項および IATF 16949 規格追加要求事項をまとめて、それぞれ次のように書体を区別して表しています。

- ・明朝体(細字)：ISO 9001：2015 の要求事項

- ・ゴシック体(太字)：IATF 16949：2016 の追加要求事項

また、IATF 16949 規格において、“～しなければならない”(shall)と表現されている箇所(要求事項)は、本書では、“～する”と表しています。

- ③ 本書は、IATF 16949 の要求事項となる、IATF 公式解釈集(sanctioned interpretations、SIs)の内容を含みます。

SIによる変更箇所には、[要求事項] 欄に下線を引いて示しています。

なお、要求事項およびいくつかの図は、拙著『図解よくわかる IATF 16949』および『図解 IATF 16949 よくわかるコアツール【第4版】』(いずれも日科技連出版社)から転載しています。

目 次

第2版発刊にあたって	3
まえがき	5
本書の構成について	9
第1章 IATF 16949 の概要	13
1.1 IATF 16949 とは	14
1.2 IATF 16949 のねらい	19
1.3 IATF 16949 の適用範囲	21
1.4 IATF 16949：2016 改訂の概要	23
第2章 IATF 承認取得・維持ルール(ルール 6) …	33
2.1 IATF ルール 6 の概要	34
2.2 IATF 16949 認証プロセス	46
第3章 自動車産業プロセスアプローチと内部監査	91
3.1 プロセスアプローチ	92
3.2 内部監査	105
第4章 組織の状況	127
4.1 組織およびその状況の理解	128
4.2 利害関係者のニーズおよび期待の理解	130
4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定	131
4.4 品質マネジメントシステムおよびそのプロセス	136
第5章 リーダーシップ	145
5.1 リーダーシップおよびコミットメント	146
5.2 方針	152
5.3 組織の役割、責任および権限	154
第6章 計画	159
6.1 リスクおよび機会への取組み	160
6.2 品質目標およびそれを達成するための計画策定	170
6.3 変更の計画	173

第7章 支 援	175
7.1 資 源	176
7.2 力 量	193
7.3 認 識	200
7.4 コミュニケーション	202
7.5 文書化した情報	203
第8章 運 用	211
8.1 運用の計画および管理	212
8.2 製品およびサービスに関する要求事項	216
8.3 製品およびサービスの設計・開発	224
8.4 外部から提供されるプロセス、製品およびサービスの管理	254
8.5 製造およびサービス提供	272
8.6 製品およびサービスのリリース	308
8.7 不適合なアウトプットの管理	315
第9章 パフォーマンス評価	325
9.1 監視、測定、分析および評価	326
9.2 内部監査	340
9.3 マネジメントレビュー	348
第10章 改 善	355
10.1 一 般	356
10.2 不適合および是正処置	357
10.3 継続的改善	365
参考文献	369
索 引	371

装丁＝さおとめの事務所

1.4.2 ISO 9001：2015 の主な変更点と IATF の対応

ISO 9001：2015 改訂の主な変更点は、図 1.15 に示すようになります。しかしこれのいずれも、IATF では ISO/TS 16949 のときからそのような管理が行われています。

項 目	内 容	IATF の対応
リスク (risk) にもとづく考え方の採用	① 新しく採用されたリスクにもとづく考え方に従って、組織がかかえるリスクおよび機会への取組み(箇条 6.1)の計画を策定して運用することにより、リスクを未然に防止する仕組みを取り入れた品質マネジメントシステムとすることが求められている。	② IATF では、ISO/TS 16949 のときから、リスクにもとづく考え方が含まれていた(図 1.20、p.31 参照)。
プロセスアプローチ (process approach) 採用の強化	① ISO 9001：2015 規格(序文 0.3 プロセスアプローチ)では、次のように述べている。 a) プロセスアプローチの採用に不可欠と考えられる特定の要求事項を箇条 4.4 に規定する。 b) プロセスアプローチによって、プロセスパフォーマンスの達成、およびプロセスの改善が可能になる。	② IATF では、ISO/TS 16949 のときから、箇条 4.4(旧規格の箇条 4.1)は、プロセスアプローチの手順を示すものであり、品質マネジメントシステムにおける最も重要な要求事項であると理解され、運用されている。
パフォーマンス (結果) 重視	① パフォーマンス・結果重視・プロセスアプローチの採用により、プロセスパフォーマンスの達成が求められている。	② IATF では、ISO/TS 16949 のときから、パフォーマンス重視・結果重視の審査が行われていた。

〔備考〕 上記 ISO 9001：2015 改訂の主な変更点はいずれも、IATF では ISO/TS 16949 のときからそのような管理が行われている。

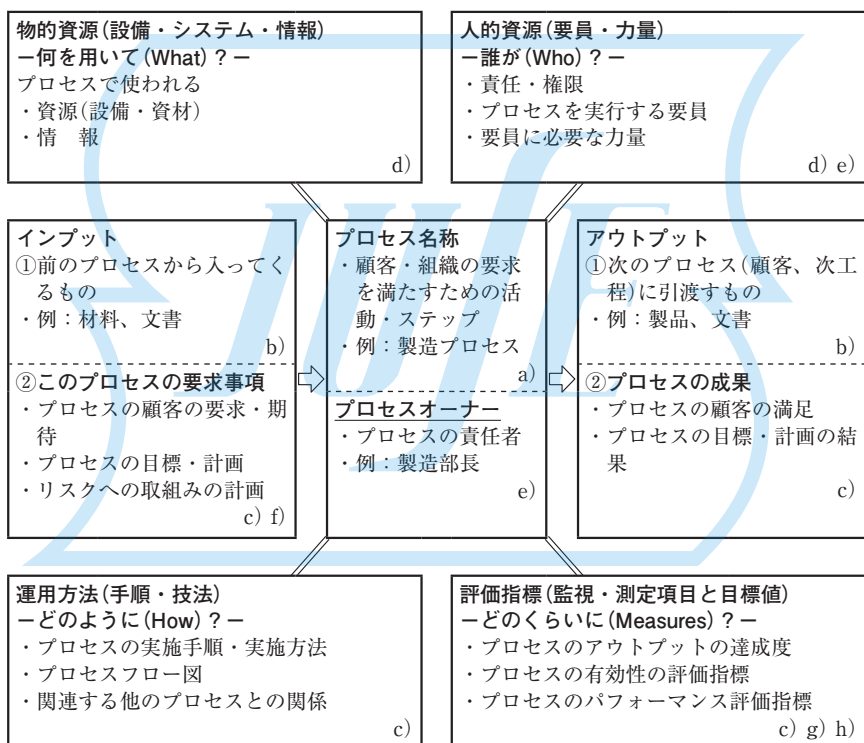
図 1.15 ISO 9001：2015 の主な変更点と IATF の対応

項 目	ルール 6		ルール 5	
③ 審査期間の決定 (続)	・ 是正処置有効性 検証の追加審査 時間	・ 重大な不適合 1 件 につき 1 ～ 3 時間	・ 追加審査時間数の規 定なし	
		・ 軽微な不適合 1 件 につき 0.5 ～ 1 時間		
	・ 全社認証の審査 工数削減率	審査工数 削減率	製造事業所数	審査工数 削減率
		15%	2 ～ 9	20%
			10 ～ 19	30%
		≥ 20	40%	
	・ 審査工数の最大許容削減率：30%		・ 最大許容削減率 50%	
④ 審査計画の策定 (5.7、5.7.1、5.7.2)	・ 審査の 90 日前までに審査日を決定 ・ 依頼者は、審査開始の 30 日前までに 審査計画策定情報を提出 ・ 審査開始の 14 日前までに審査計画を 依頼者に発行		・ 規定なし	
⑤ 不適合マネジメン ト (5.11.1、5.11.3)	・ 依頼者は、重大な不適合への対応を 審査最終会議から 15 日以内に認証機 関に提出		・ 審査最終会議から 20 日以内に認証機 関に提出	
	・ 重大な不適合に対して提出された 15 日以内対応が不可とされた場合、審 査最終会議から 30 日以内に、受入 可能な不適合対応を提出することを、 認証機関は依頼者に要求		・ 審査最終会議から 90 日以内に、IATF CARA 不適合書式 中の提出された情 報をレビューし、 その受入可能性に 関する判定を下す。	
⑥ 不適合マネジメン トー 100% 解決 (5.11.3.1、5.11.4)	・ システム的是正処置の実施とその有効 性の内部検証の証拠を特別審査の 30 日前までに提出 ・ 特別審査の回数を 1 回に限定 ・ システム的是正処置の有効性検証のた めの現地特別審査のスケジュールを、 次回の通常審査の 90 日前までに作成		・ なし	

図 2.6 IATF 認証取得・維持ルール改訂の概要 (2/3)

	プロセスのインプット	プロセスのアウトプット
ISO 9001 の プロセスアプローチ	・ 前のプロセスから入ってくるもの － 材料・文書など	・ 次のプロセスに引渡すもの － 製品・文書など
IATF 16949 の 自動車産業プロセス アプローチ	・ 顧客の要求事項 － 顧客の要求事項 － 組織の目標、など	・ 顧客要求事項の満たされた結果

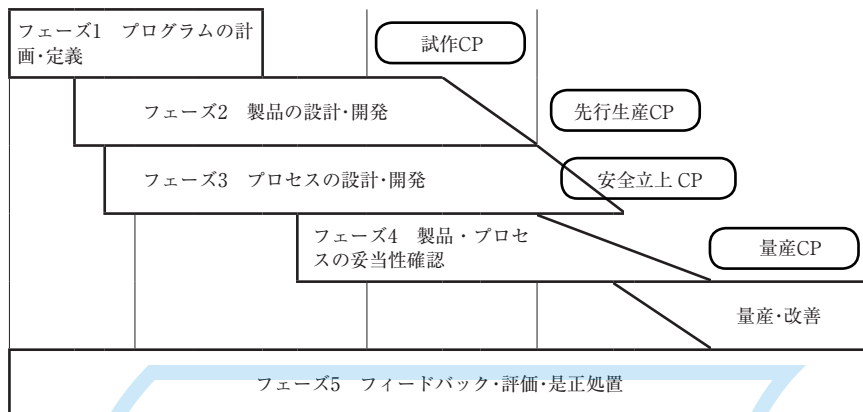
図 3.15 ISO 9001 のプロセスアプローチと自動車産業のプロセスアプローチ



[備考] a)～h)は IATF 16949:2016(ISO 9001:2015)規格箇条 4.4 の項目を表す。

図 3.16 タートル図

APQP のフェーズ



コントロールプラン

コントロールプラン												
☐ 試作 ☐ 先行生産 ☐ 量産 ☐ 安全生産												
コントロールプラン番号				連絡担当者／電話				発行日		改訂日		
製品番号／最新改訂レベル								顧客技術部門承認／日付				
製品名／説明				サプライヤー／工場承認／日付				顧客品質保証部門承認／日付				
サプライヤー／工場		サプライヤーコード		その他の承認／日付				その他の承認／日付				
番号	工程名 作業内容	量産用の製造 用機械、 装置、治具	管理特性			特殊 特性 クラス	管理方法				対応処置	
			番号	製品 特性	プロセス 特性		製品・プロセス 特性規格／ 公差	評価方法 技法	サンプリング		管理方法	処置内容
										数量		

図 8.50 APQP のフェーズとコントロールプラン

索引

[A - Z]		拡張製造事業所	22
AIAG	15、183	監査員の力量	196、199
APQP	17、225	監査計画	371
CAPDo	122、385	監査プログラム	105、342
CSR	16、17、134、343	企業責任	148
FMEA	247、250、251	技術仕様書	209
IATF 16949 承認取得・維持ルール		機能試験	310
	17、33	機密保持	215
ISO 9001	20、23	供給者選定プロセス	256
MSA	182	供給者の開発	268
PPAP	17、242	供給者の監視	265
SI	16、17、134	記録	29、208
TPM	286	緊急事態対応計画	167
VDA	17、124、183、225	組込みソフトウェア	329、264
[あ行]		継続的改善	365
アクセサリ部品	22	コアツール	196、199
アフターマーケット部品	22	公式解釈集	16、17
移転審査	85	工程管理の一時的変更	305
依頼者	38	合否判定基準	313
インフラストラクチャ	176	効率	110、149、
疑わしい製品	318	顧客とのコミュニケーション	316
運用	212	顧客固有要求事項	16、134、343
エンパワーメント	200	顧客志向プロセス	99、100
[か行]		顧客指定の供給者	257
外観品目	311	顧客満足	335、336
外部試験所	190	コミュニケーション	202、216
		コントロールプラン	276、279

[さ行]		設計・開発	224
サービス	255、299、301	測定システム解析	182
サービス契約	300	ソフトウェア	122、264、342
サービス部品	22		
サーベイランス	84	[た行]	
再認証審査	84	タートル図	102
再配置	73	第一段階審査	74
作業環境	180	第三者監査	74、266
支援機能	22、53、89	第三者監査員の力量	199
識別	290	第二段階審査	83
試験所	188	妥当性確認	238、240
資源	176	段取り替え	282
試作プログラム	241	チャレンジ部品	361
シャットダウン	167、284	適合書簡	72
修理製品	321	適合性	109
上申プロセス	140、148	適用範囲	21
初回認証審査	74	テクニカルレビュー	69、82
審査期間	47、52	手直し製品	319
審査工数	51、52	特殊特性	220、236
審査所見	62	特別採用	317
審査プログラム	46	特別承認	140
生産計画	289	特別審査	49、52、87
生産部品	22、242	トレーサビリティ	184、290、305
製造工程監査	344		
製造工程の監視・測定	329	[な行]	
製造事業所	22	内部監査	105、340
製造フィージビリティ	177、231	内部監査員の力量	196
製品安全	140	内部試験所	188
製品監査	345	認識	200
製品設計の技能	329	認証プロセス	46
是正処置	65、357	認証機関	38

[は行]		マネジメントレビュー	348
パフォーマンス	24、325	問題解決	360
品質マニュアル	205		
品質マネジメントシステム開発	261	[や行]	
品質マネジメントシステム監査	343	有効性	109、249、344
品質方針	152	予知保全	286
品質目標	170	予備審査	41
不適合製品の廃棄	323	予防処置	165
不適合なアウトプット	315	予防保全	286
不適合のマネジメント	65		
プロセス	92	[ら行]	
プロセスアプローチ	24、60、136	リーダーシップ	14
プロセスアプローチ監査	118	力量	193、196、199
プロセスオーナー	98、250	リスク	24、31、97、124、160
文書	27、28、203	リスクおよび機会	160
変更管理	302、303	リスク分析	164
法令・規制への適合	313	リモート審査	88
法令・規制要求事項	139、232、260	リリース	308
ボカヨケ	361	リーン生産	177
補償管理システム	303	ルール	33
保存	296	レイアウト検査	310
[ま行]			
マネジメントプロセス	99		

著者紹介

いわなみ よしお
岩波 好夫

経 歴 名古屋工業大学 大学院 修士課程修了(電子工学専攻)

株式会社東芝入社

米国フォード ECU 開発プロジェクトメンバー、半導体 LSI 開発部長、米国デザインセンター長、NASDA(現 JAXA)ロケット用 LSI 開発メンバー、品質保証部長などを歴任

現 在 岩波マネジメントシステム代表

JRCA 登録 ISO 9000 主任審査員(A01128)

IRCA 登録 ISO 9000 リードオーディター(A008745)

AIAG 登録 QS-9000 オーディター(CR05-0396、～ 2006 年)

日本品質管理学会会員

現住所：東京都町田市

趣 味：卓球

著 書 『図解 新 ISO 9001』、『図解 IATF 16949 の完全理解』、『図解 IATF 16949 よくわかるコアツール【第4版】』、『図解 IATF 16949 よくわかる FMEA』、『図解 IATF 16949 VDA 規格の完全理解【第2版】』(いずれも日科技連出版社) など

図解 IATF 16949 要求事項の詳細解説【第2版】

—自動車産業品質マネジメントシステム要求事項、
IATF ルール 6、プロセスアプローチ、内部監査—

2018 年 11 月 4 日 第 1 版第 1 刷発行

2024 年 2 月 20 日 第 1 版第 8 刷発行

2025 年 2 月 2 日 第 2 版第 1 刷発行

著 者 岩 波 好 夫

発行人 戸 羽 節 文

検 印
省 略

発行所 株式会社 日科技連出版社

〒 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-7-4
渡貫ビル

電 話 出 版 03-6457-7875

Printed in Japan

印刷・製本 河北印刷株式会社

© Yoshio Iwanami 2018, 2025

ISBN 978-4-8171-9810-5

URL <https://www.juse-p.co.jp/>

本書の全部または一部を無断でコピー、スキャン、デジタル化などの複製
をすることは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者
等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭
内での利用でも著作権法違反です。